

安全安心

す ころ
須頃地区
(新潟県三条市)

- 計 画 期 間 平成 27 年度～平成 29 年度
- 面 積 114.0ha
- 交付対象事業費 400 百万円
- 市人口 94,146 人

ポイント

三条市の発展を牽引する広域交流拠点の形成

地区概要

広域的な交通結節機能をいかした広域交流拠点づくり、内水対策などの防災・減災対策による定住の場づくりを進める。

目 標

浸水被害の改善に向けた定住の場づくり

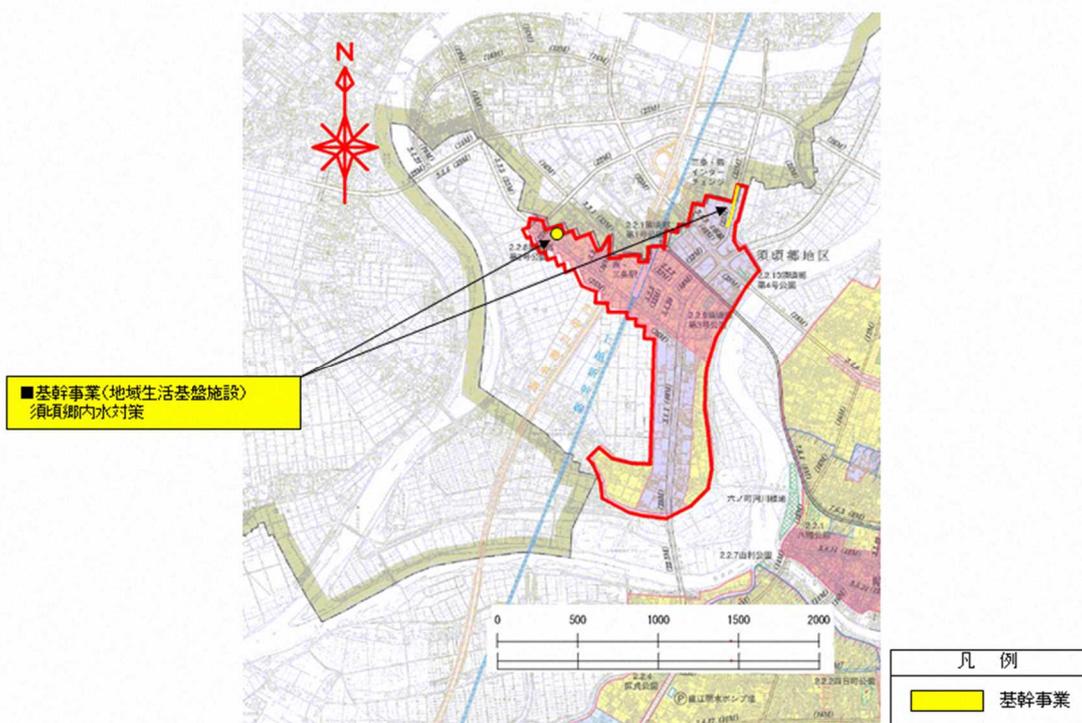
指 標

高次都市の機能保全に向けた各種事業の展開による乗車人員の向上、雨水排水対策等による浸水区域の減少等を指標とした。

JR 燕三条駅の 1 日平均の乗車人員	2,210 人 (H25)	→	2,265 人 (H29)
市民交流の促進(市民満足度調査)	2,966 ポイント (H26)	→	3,016 ポイント (H29)
計画区域における浸水予想区域面積	34.5 ha (H26)	→	0 ha (H29)

事業内容

基幹事業 (400 百万円) → 内水対策整備



地区の現況と課題

現況

上越新幹線燕三条駅や北陸自動車道三条・燕インターチェンジ、国道8号・289号などの南北・東西方向の軸が配置された広域的な交通の拠点として位置付けられている。また、土地区画整理事業による都市基盤施設の整備が完了しており、産業支援施設や商業・業務施設などの集積が進んでいる。



浸水被害状況写真（平成22年9月12日）

課題

高速交通体系の結節点としての特性をいかし、広域商業、文化、交流、産業支援など高次都市機能の集積度が高まっており、これらの機能保全のための整備が必要である。

また、本地区は近年急速に宅地化が進んでおり、これに伴う雨水の流入量増加や近年多発する豪雨に対応するため、内水対策が急務となっている。



浸水被害状況写真（平成23年7月29日～31日）

<p>【導水路兼貯留施設】 ボックスカルバート B1.0m×H0.8 L=248m ○排水方式：ポンプ排水</p>			<p>【貯留施設】 プレキャストコンクリート製 A=約400㎡ [10.3m×38.5m]×H2.0m</p>
	<p>*ボックスカルバート断面 (B1.0m×H0.8m)</p>	<p>*貯留施設内</p>	

須頃郷第2号公園ほか（施工写真）

計画策定プロセス

これまでの計画と事業実施

須頃地区は、近年頻発する豪雨により浸水被害が絶えない事から浸水被害の軽減に向けて、平成22年度から須頃郷排水対策検証会が組織され、排水対策に向けた検討が行われた。

この検証会の報告を受けて平成26年度まで三条地区都市再生整備計画で事業を実施してきたが、期間中に整備出来なかった調整池や排水路の改修等、更なる排水機能の強化を図るものである。



須頃郷排水対策検証会